情報通信技術研究交流会

ISSN 0919-3014

AC·Net = z-Z

No. 176 2013 年 7 月

· Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

向暑の候、皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

7月5日に行われました第201回例会は、4月にオープンしましたグランフロント大阪にありますナレッジキャピタルのカンファレンスルームにて開催いたしました。

カンファレンスルームはタワーBとタワーCとあり、今回はタワーCでしたので結構迷われたのではないでしょうか?

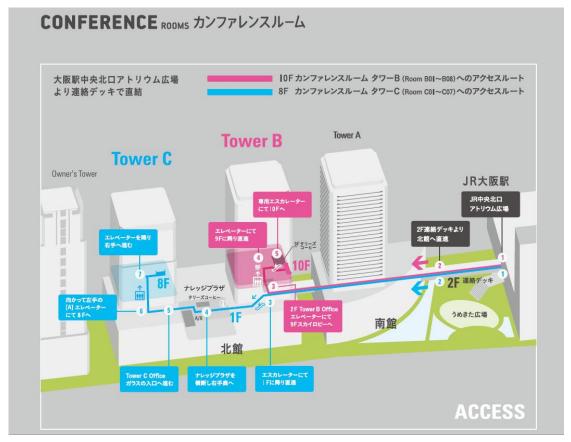
また、これまで講演会終了後に懇親会を開催し交流の場を設けていましたが、今回は講演 1と講演 2 との間に交流の場を設けてみましたが、いかがだったでしょうか?ご意見・ご要望がありましたら、*acnet@ml.nict.go.jp* までお願いいたします。

◆◆◆第202回例会のご案内 ◆◆◆

日 時:9月13日(金)13:30~16:30

会 場:ナレッジキャピタル タワーB10階 カンファレンスルーム

アクセス (http://kc-i.jp/data/pdf/conference_map.pdf)



皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第 201 回例会 開催報告

日時: 2013年7月5日(金)14:00~17:30

会場: ナレッジキャピタル タワーC8 階カンファレンスルーム

講演①:『テラヘルツ波帯の実利用に向けて -最新技術動向と課題-』

講師: 久々津 直哉氏

≪アンケートより抜粋≫

- ・医療や災害時通信などへの応用がとても 期待できると思いました。
- ・テラヘルツというとすごく先の話のよう に思っていましたが、次の次の世代くら いまで迫って来ているように感じました。
- ・THzの将来展開が判ってよかった。
- 超高速無線通信の技術動向について大変 有益な話が伺えた。



講演②: 『テラヘルツ帯電磁波を用いた超高速・大容量無線通信技術の研究開発への期待』

講師: 實迫 巌氏



≪アンケートより抜粋≫

- ・欧米の研究動向が非常に良くわかりま した。
- ・THz 電磁波の応用の豊富さに感銘を受けた。
- ・THz の開発が世界中で進んでいない事が判りました。日本も負けてはいられませんね。予算の目途はどうなんでしょうか。生体への影響はやはり気になるところですね。
- ・超高速無線通信技術の研究開発により 早期の実用化がすすむことを期待し ます。

ご講演いただいた久々津様、寳迫様ならびにご参加くださいました皆様大変有難うございました。



【事務局より】講演会のご案内は、メール配信及びホームページ (http://www2.nict.go.jp/advanced_ict/ACnet/)で行っています。

〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 5 8 8 - 2 独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究所内 TEL: 078-969-2129 FAX: 078-969-2200

E-mail: acnet@ml.nict.go.jp